

# えんちゃん新聞

発行元  
 令和2年4月 発行  
 第42号  
 社会福祉法人 亀鶴会  
**偕楽園**  
 特別養護老人ホーム偕楽園  
 〒874-0904  
 大分県別府市南荘園町25組  
 TEL: 0977-22-2515

新聞の名前は、施設で飼っているパットの名前です。

 名前: えんちゃん  
 犬種: トイプードル  
 性別: 男の子

●施設の特徴  
 4つのユニットで構成され、ユニットケアを行っています。

特養: 29部屋(全室個室)  
 向日葵ユニット(10)  
 金木犀ユニット(10)  
 小梅ユニット(9)  
 ショートステイ: (全室個室)  
 桜ユニット(10)



2F: きんもくせい, こうめ  
 1F: ひまわり, さくら  
 ショートステイ

## 百歳記念式典



2月25日、河野シズ様が100歳の誕生日を迎えられました。当日は、長野恭紘市長が来園され、表彰状などの贈呈式が行われました。

河野様と偕楽園のお付き合いは、平成29年のショートステイのご利用から始まりました。お肌の艶もよく、お話も楽しく、とても元気なイメージの河野様ですが、若い頃は病弱で、65歳で



曾孫さんから届いたプレゼント

喘息が良くなってから元気がなつたとを聞いて、驚きました。いつまでも河野様の優しい笑顔を見続けられる様、努めてまいります。

## 金木犀ユニット紹介

金木犀ユニットでは日中離床している方が多く、塗り絵や貼り絵、プリント集、音楽鑑賞など、好きなことをして過ごされています。難しい問題集をされている方から、「ここ何か分かるかなあ」と質問される事もあります。職員にとっても難しく、一緒に問題に取り組むこともしばしばです。

また、今の季節は、金木犀ユニットのベランダから、満開の桜を観賞することができます。皆様から、「あー綺麗やなあ」と感嘆の声が聞かれ、暖かい日差しに「気持ちいいなあ」と目を閉じ、それぞれ思い思いに春の風物詩を楽しまれています。毎年の変わらない風景、来年の春も同じように穏やかに迎えたいですね。



2月は、4名の方が誕生日を迎えられました。ご本人の希望のものや好きなものをプレゼントし、お祝いさせていただきました。ちょっと高級なチョコレート、また、昔よく飲まれていたビールやメンチカツを希望された方、「また食べたいなあ」と懐かしい味を堪能されたようです。間違い探しの本と綺麗なヘアピンをプレゼントしたご利用者からは、「もらっていいんかえ、ありがとう」と、とても喜ばれ感謝の言葉を頂きました。これからも元気に楽しく歳を重ねられるようサポートさせていただきます。









## 小梅ユニット紹介

小梅ユニットでは、『入居者・職員が笑顔で活気ある生活が送れるように快適な環境作りを考え・追究する』をユニット目標とし、日々考え話し合いを行いユニット目標に向けて、取り組んでいます。

2月・3月では、誕生日会を本人のご要望に沿いながら、家庭的な雰囲気でお祝いを行いました。職員の声掛けに涙ぐむ様子がみられましたが、終始笑顔で楽しい会となりました。



また、ベッドから起きてこられた際にユニット内を見て楽しんで頂いたり、喜んで頂けるようにユニット内のダイニングスペースのしつらえを変え、季節感を感じて頂けるように工夫し、入居者の方に良い刺激になるように試行錯誤しています。

先日、入居者の方が好まれるお菓子や食べ物を用意し、職員も一緒にお邪魔させて頂き、皆様と一緒に食べました。とても喜び姿や、普段とは違った一面も見られ、会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。今後も入居者の方の身体的な負担に配慮をしていきながら、定期的に行えたらと思っています。

皆様が毎日楽しく・笑顔で生活が送れるように一人一人のケアを考え、追究し満足して頂けるように職員一同努めてまいります。



特別養護老人ホーム  
 TEL:22-2515 FAX:22-2516

グループホーム  
 TEL:22-5553 FAX:22-5554



居宅介護支援事業所  
 TEL:85-8561 FAX:22-5554

ヘルパーステーション  
 24時間いつでもコール  
 TEL:75-8816 FAX:76-5889

外部研修報告

●「ユニットリーダー研修」

介護福祉士 二宮孝太

令和2年1月9日～10日、2月18日～21日まで、全国個室ユニット型施設推進協議会主催のユニットリーダー研修に参加しました。



ユニットリーダーには、「介護の実践者としての能力」、「介護職グループにおけるサービスをマネジメントする能力」、「多職種との連携の役割」、「介護技術の指導者としての役割」等の様々な能力と資質が求められます。また、ユニットケアの理念を実現し、入所者一人ひとりの尊厳ある生活を継続するためには、ユニットリーダーの役割が非常に重要です。

ユニットケアとは、自宅に近い環境の介護施設において、他の入所者や介護スタッフと共同生活をしながら、利用者の個性や生活リズムにに応じて生活できるようにサポートする介護手法です。少人数で常に同じ入所者と顔を合わせることで交流が生まれ、同じスタッフが担当することで相互理解が深まり、入所者の個性や生活のリズムを保つことができます。加えて、ユニットケアを実現するにはハードとソフトの両面からの整備が求められます。

研修を通して、座学においては、ユニットケアの理念や意義、ユニットリーダーに求められる施設や人物像、ユニットケアを取り巻く社会的背景等についての知識を深めることができました。また、実地研修では、ユニットケアリーダー研修実地施設としての取り組み（根拠に基づいた高度な個別ケアの展開、ハード・ソフト面の環境整備、プライバシーへの配慮、多職種連携の実践等）や、実際の介護現場でのスタッフの動き、ユニット運営計画書の具体的な作成方法を学ぶことができました。

家族会の開催

2月22日（土）多目的ホールにて、家族会を開催しました。ご参加頂きましたご家族の皆様、大変ありがとうございました。頂戴したご意見は、今後の活動に活かして参ります。また、今回、参加出来なかったご家族の皆様におかれましても気になる点などございましたら、都度、施設職員へお申し出頂ければと思います。

当日は、行事や日常の様子、施設運営についての報告を行いました。また、今回は、食事内容の見直しに伴う給食委託業者の変更について施設側より提案し、ご家族の皆様の同意を得られました。

食事内容の見直し

4月1日より、新たな給食委託業者による食事の提供がスタートしました。

『普段は家庭の味を 特別な日には職人の味を』を理念に厨房内で作られた食事は、見た目にも鮮やかで、職員にも大変好評です。制限の多い生活の中で、食事が楽しみのひとつとなるように給食委託業者と改善を重ねながら、よりよいものにしていきたいと思ひます。



ソフト食とは  
歯ぐきや舌でつぶれるくらいにやわらかくした介護食のことで、豆腐ほどのやわらかさにした食事のことをいいます。

今後は、研修で得たことを現場にフィードバックし、ユニットケアの理念に基づいた個別ケアがより実践出来るようにするために、随時アイデアを出し、ユニットにおける様々な課題を解決しながら、入所者の皆様が、それぞれの個性や生活リズムに応じた暮らしが出来る様にサポートしたいと思ひます。

内部研修報告

月に1回、グループホーム、居宅、訪問介護の職員と合同で、職場内研修を行っています。外部研修会に参加した内容や旬のテーマを全員で共有し、利用者の皆様によりよいケアが提供できることを目的としています。

●1月のテーマ

緊急事態

『介護職員（夜勤時・容態急変時の対応）』

●2月のテーマ

『高齢者施設での虐待』

●3月のテーマ

『認知症対応事例集』



職員紹介



野町浩平 36歳 別府市出身  
趣味：筋トレ（マッチョになりたいと夢見ています）

4月1日から、生活相談員をさせて頂くことになりました。

当法人で勤め始めて10年が経ち、これまで、特養、ショートステイ、グループホームの介護職員として勤務してきました。福祉業界に入って14年が経ちましたが、慣れるということはなく、毎日新しい経験をする事ができています。初めて生活相談員の役割をさせて頂く事になり、今までとは違う視点でご利用者と関われるワクワクと同時に怖さも感じています。先輩方の知識と経験を学び、自身も多くの経験を得て、積極的にレベルアップしていきたいと思っています。ご利用者が日々の中で1回でも多く想いを表現できるように、そして実現できるように寄り添うことが出来る生活相談員になりたいと思っています。一生懸命、皆様と力を合わせていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。



荒巻美月 18歳 別府市出身  
趣味：ソフトテニス

これまで、実習やアルバイトなどでお世話になりましたが、4月から正職員としてお世話になります。これまで培ってきたものを活かし、1日でも早く戦力になれるように一生懸命業務に取り組みます。何かとご迷惑をおかけすると思ひますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



社会人としての新スタートを迎え、期待と緊張でいっぱいのことと思ひます。日々の業務の中で、沢山のことを学び吸収して、スキルアップして頂きたいと思ひます。応援しています。一緒に頑張りましょう。 介護主任より



感染予防対策のため、面会ができない状態が続いていますが、みなさま元気にお過ごしになっています。

